

九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会
「イチゴにおけるスマート CO₂ 施用の研究・普及に関する情報共有と今後の研究課題の検討」
研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会長
(農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域長補佐)

1. 開催目的

九州沖縄のイチゴは、近年の堅調な需要に支えられ他の品目に比較し作付面積は漸減に留まっていますが、生産者の高齢化等担い手の脆弱化は進展しており、イチゴ産地の維持拡大は喫緊の課題である。産地の維持拡大のために、農研機構及び各県においてニーズに対応した新品種や低コスト・増収をもたらす栽培技術の開発・普及に鋭意取り組んでいる。その一つとして、燃焼式 CO₂ 発生機を利用した局所 CO₂ 施用技術を核に、換気連動装置、環境モニタリングシステムなど多様な機器・システムを導入し、イチゴの増収を図っていくスマート CO₂ 施用技術がある。本技術は、農研機構で開発されて以来、増収と省エネ効果が注目され、試験研究、現地実証がおこなわれ、生産者への普及もはじまってきた。また、各県においても、スマート CO₂ 施用技術を利用した栽培試験や現地実証も企画されてきている。そこで、標記検討会では、イチゴのスマート CO₂ 施用技術について、現在の各県の試験計画や現地実証等の現状について情報を共有し、今後の課題について議論することを目的とする。

2.開催日時 令和7年9月8日(月) 13:00~17:00

3. 開催場所

九州沖縄農業研究センター 筑後・久留米研究拠点(久留米)
(福岡県久留米市御井町1823-1)

4. 参集範囲

九州沖縄各県試験研究・行政・普及指導機関、農業・食品産業技術総合研究機構(九州沖縄農業研究センター等)、その他(大学・民間等)

5. 内容

①スマート CO₂ の研究成果と今後の開発計画

農研機構 九州沖縄農業研究センター 施設野菜グループ 日高功太

②九州各県におけるスマート CO₂ の研究課題、現地実証試験、普及状況の情報共有

③総合討議

6.会議資料提出

締切り：令和7年8月29日（金）

様式：各県提出資料（別紙1）

②③に利用いたします。

7. 出席申し込み

締切り：令和7年8月29日（金）

様式：出席申し込み書（別紙2）

8. 問い合わせ先

農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域

施設野菜グループ 田口善勝

〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421 TEL：096-242-7534（直通）

E-mail：taguchi.yoshikatsu443@naro.go.jp

別紙 1

提出資料

提出先 農研機構九州沖縄農業研究センター 暖地畑作物野菜研究領域

施設野菜グループ 田口善勝

E-mail : taguchi.yoshikatsu443@naro.go.jp

月 日までに電子メールで提出してください

() 県

スマート CO₂ の現状について

1. 貴県のイチゴの研究においてご回答ください

①現在実施している局所 CO₂ 施用に関する研究課題

ある 研究課題名 ()

研究内容等について

ない

②今後実施を予定している局所 CO₂ 施用に関する研究課題

ある 研究課題名 ()

研究内容等について

ない

③局所 CO₂ 施用の現地実証試験の実施について

現地実証試験の実施主体は県の試験、普及、JA 等であり、情報を把握できている範囲で構いません

ある 実証地 実証面積
 品種 栽培方式 高設 土耕
 試験内容

ない

2. 貴県のイチゴ栽培における局所 CO₂ 施用の普及の状況について

普及については、県で把握できている限りで構いません

導入地域	導入面積	導入戸数	補助・助成について

導入地域は、振興局単位、JA 単位、自治体など把握できている範囲で構いません